

ことばの研究社
TEL 086-431-3481
kotoba_kan@yahoo.co.jp

シリーズ 2、「物の観方・考え方」

なぜ、体系的に創り、なぜ、継続的に行うことが必要か？

- ※ 前号発行直後から、新型コロナウイルス感染症が国内においても、一大社会問題として起こった。この問題は、EPA制度を揺るがすほどにもなっている。即ち、【入出国が制限される状態】が起こり、新年度の人材受け入れの計画に、多大な影響が生じている。
- ※ 人材育成を継続的行えない現状は、受け入れ機関の人材不足解消に根幹的・多大な支障をきたす。解決策は、在籍受験者を確実に合格させる方法しかない。

- ※ 人材を「体系的に創り、継続的に行う」ことが出来なくなった現在、今後の人材育成目標を大幅に変更せざるを得なくなっている。このことは医療・福祉分野で見ると、日本の将来の福祉制度を揺るがすほどの問題であるといえる。
- ※ 外国人労働力に頼らざるを得ない日本の福祉制度は、もう一度、根本的に労働力確保の視点から再考する必要がある。(図1参照)

I、【なぜ、「体系的に創る」視点が必要か？】

1. 日本人の教育に対する考え方は、「勉強する、即ち覚える姿勢」を想像することが多い。その結果、「物事を考えて理解する姿」をほとんど想像できない。EPA制度での「体系的に創る」とは、図3の通り、「物事を段階的に身につける素養を養い、理解する力を身につけさせる」学習方法だ。
2. 確立した価値観がある人は、未知の問題に接しても、自分の思考力でその問題を解く力が身につけている。その結果、理解力をもって、対応する力がさらに養われていく。これを言語教育の分野では、「類推して学ぶ」という。
3. 「類推して学ぶ」力が身につくことで、受験者は外国語である日本語の国家試験問題に対しても、対応能力が身につくことになる。しかし、既成の教育概念では、「分断的で、部分的な知識を習得させること」が教育の姿となっている。これは、「体系的に創る教育」とはいえない。

II、【なぜ、「継続的に行う」視点が必要か？】

1. 諺にある通り、「継続は力なり」を思い起こせば、継続する必要性が一般の人にすぐ理解できる。即ち、物事を行う上で、継続的でなく断続的に行えば、その物事の必然的な流れの関係性が分かりづらくなる。その結果、流れの大きな部分だけを覚えて、観念的な思考を生む。(図2参照)
2. 観念的な考え方は、物事の一面だけを思い込みや丸暗記するだけで、「新たな必然性や方向性を考える要素がなくなる」ことに注目していない。その結果、正しくない主観的な結論を出すことになる。
3. 継続性とは、ただ単に続けて行うことではなく、前提の設定条件を基として、さらに「新たな必然性と方向性を生み出す思考性」のことだ。継続性がなければ、新たな価値観が成立できない。そのことが理解できる人は、継続性の重要性を認識できる。
4. 多くの受け入れ機関では、受験者を三年間の使い捨て人材として捉えている所がある。これは、今回の感染症問題で完全に間違った考えであることが、証明された。このことを今後、重要視する必要がある。

III、【「自学能力」をどう養うか？】

1. 関心や興味がなく、さらに、受験者の言語能力に合わない教材を使用した場合には、当然のことながら自学する意欲が生じない。そのためには、受験者の関心や興味が持てる教材を使用することが大前提となる。受験者の言語能力とかけ離れた教材を使用した場合は、例え関心や興味が強くても、難解なものとして受け止められ、自学する意欲すら湧かなくなる。よって、「身の丈にあった興味が持てる教材の選択」が、「自学能力を養う」最大の条件となる。
2. 「基礎言語能力」がなければ、自学能力は生まれない。即ち、自学する「教材を読み理解する力」がなければ、自学すらできないことを認識する必要がある。

外国人にとって難解な漢字に対して振り仮名振りの教材は、自学するためには良いが、漢字習得をするためには障害となることを認識すべきだ。即ち、新出漢字に対して「予告する文」がない教材は、効果的な自学教材となり得ない。

3. 対訳教材は、自学能力を養う教材とはいえない。その理由は、対訳することで理解できたと思い込むが、「日本語を習得したのではなく、翻訳した範囲」に留まり、言語能力がついたことにはならない。できるだけ「日本語を日本語で理解する」教育方法を自学の中でも取らせて、「自分から興味を持つ学習」に仕向けていくことが重要だ。

図1、【四つの視点】

「経営者の視点」

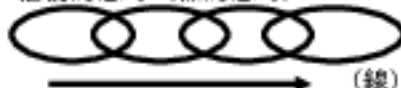
1. 大局的に 観る。
2. 総合的に 考える。

「非経営者の視点」

3. 体系的に 創る。
4. 継続的に 行う。

図2、【「継続性」の違い】

継続的思考 (線的思考)



断続的思考 (点的思考)



Ⅳ、【体系的で継続的に行えば、合格できる！！】

- ※ 国家試験問題を解くためには、日本語能力を基に問題文を読み理解できない限り、解答できない。
- ※ 即ち、問題文を意味理解できる言語能力が必要となる。つまり、受験能力とは問題文を意味理解する能力だ。

★ 看護では「受験」の基本要素が認識されていない

1. 図4の「EPA看護4年間合格率」を見る限り、日本人合格率と比べ、余りにも低い合格率といわざるを得ない。その大きな原因は、受験者に対する病院側の「日本語能力の必要性」が、認識されていないことを表している。
2. 現場の多くの声は、入職と同時に専門知識の習得を第一に挙げている所が多い。さらには、受験者に日本語の「基礎言語能力」すら不十分な者にも、難解な漢字を中心とした専門知識の習得を強要している。その結果、日本語に対する嫌悪感が増大するため、学習意欲をも喪失した状態で、毎年受験して、不合格となっている。
3. 病院では毎日、午後半日間を学習時間に充てている所が多い。その間、受験者は自学能力がないまま専門知識の対訳本を読んだり、専門用語の対訳での暗記を強いられて、無駄な時間を費やしているのが実態だ。
4. 3年間の間、毎年国家試験を受験し、その都度不合格となる。その経験が基となって、途中帰国者が介護に比べて、看護は非常に多いことが特徴だ。

★ 「基礎言語能力」があれば、合格できる

1. 図3【合格への道】を体系的に考えた「三か年学習計画」は、病院にはほとんどない。受験に必要な日本語力をつけることなく、ただ3年間で専門用語・知識を覚えさせることに終始している。その結果が、図4だ。
2. 看護分野での【到達度試験参加者】は、図3【合格への道】に従って学習するため、毎年の合格率は、50%以上に達し、ちなみに、昨年度は全員合格であった。このことを考えると、合格率を上げるためには、図3の「三か年学習計画」を実施することが、いかに重要であるかを証明している。

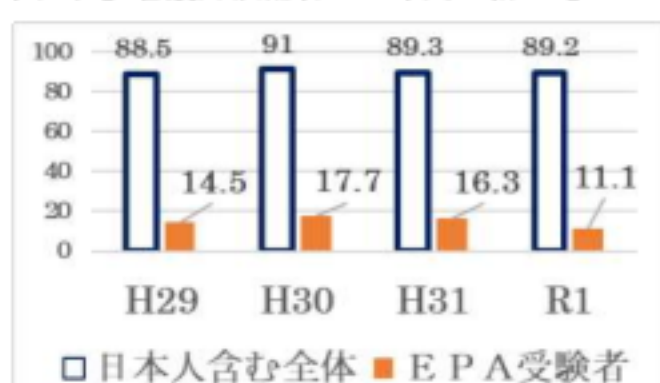
- ※ 肝心な事は、「受験能力」と「合格能力」との違いを指導者がはっきりと認識して指導する必要がある。
- ※ 受験能力を養うためには、「基礎言語能力」を養うとともに、文意・文脈に対する読解能力を養うことだ。

図3、【合格への道】 「三か年学習計画」



※ 上図は「人間の言語習得過程」を基に考えた計画だ。日本人が国家試験を受ける場合にも、同じ過程を踏む。

図4、【看護師候補者の4年間合格率】



Ⅴ、【断続的で一時的な教育は、不合格になる！！】

★ 不合格の最大の原因は、何か？

1. 図5は、【不合格の要素の種類】を表したものだ。これを基に考察すると、「言語能力と専門知識」の関係は、合格のための両輪となっていることが分かる。特に、表面的な会話ができると、「言語能力がある」とみなしてしまう。その結果、受験に必要な言語能力の重要性を見落としてしまっている。
2. 専門知識がありながら言語能力がない受験者は、国家試験形式がマークシート形式であるために、専門用語を頼りに選択する傾向が強い。しかし、文脈読解能力がないために、不合格となる確率が高い。
3. 言語能力を客観的に把握することこそが、最も重要な【合格への道】という判断基準が必要だということを、認識すべきだ。

図5、【不合格・合格の要素】

	言語能力	専門知識
不合格	○	×
	×	○
	×	×
合格	○	○
	○ ある	×

※ 言語能力は、「会話力」だけでなく、「構文・読解力」が日本人の高校生レベルをいう。専門知識とは、日本語で専門用語を基にして、口頭で説明できる能力を言う。

誰でもスカイプ授業の見学ができます！！

日本人職員の見学大歓迎

- 客観的に授業内容を見て、現在受けさせている授業と比較することができます。また、参加受験者と非参加受験者の言語能力を客観的に比較して観ることができますので、参考にして下さい。

途中でも「到達度試験」に参加できます！！

途中到達度試験参加者大歓迎

- 2、3年目の受験者に限らず、足切り受験者でも参加することができるのが、到達度試験の特徴です。今まで途中参加者が無理なく、合格している実績を考えると、今からでもあきらめずにご参加下さい。

合格後即戦力として働かせるためには、どうすれば良いのか？！

- 人材不足のため、EPA候補者は看護・介護ともに毎年、継続的に受け入れ、現在、20名近く在籍している。
- 日本語学習や受験対策指導は、専門の教師が訪問して教えている。同じように教えていても、能力の差が生じているので、できる人と、できない人がいることは確かだ。
- 看護は毎年のように合格者を出しているが、せっかく合格したのに、帰国してしまったり、よその病院に行ってしまったりと、定着が悪い。さらに、日本語力が不十分のために、合格後、即戦力となる看護師人材が少ないことが問題だ。（長野県・F病院）

日本語力を高められない限り、合格できない！！

- 日本語は午前中、現場で業務をしながら習得させている。午後からは、現場の看護師が受験対策を中心に指導している。
- しかし、日本語力が低いいためか、看護師も苦勞しながら教えている状態が続いている。
- 必修問題は繰り返し試験問題を解いていくと理解できるレベルにはなっているが、情景設定問題を解かせると、適当に選んでいることがよく分かる。毎年試験を受けているが、情景設定問題で不合格となっているので、これをクリアしない限り、合格は難しい。
- 国家試験に合格してから、日本語は現場で何とか身につけられると思っていたが、なかなか合格できないところを見ると、その考え自体が間違っているのではないかなと思う。（東京都・I病院）

合格後の定着を高めるためには？！

- 午前中は業務をして、午後は日本語学習・受験対策の学習時間に充てていた。日本語学習は、日本語教師が週一回来て指導をして、受験対策は現場の看護師が直接、指導をしていた。
- 複数の候補者をまとめて看護師が指導する際、日本語のレベルに差があったために、苦勞しながら対応していた。さらに、国家試験前の12月からは、午前中の業務もさせずに、丸一日間、受験勉強に費やしていた。
- 病院あげて、何とか合格できるようにサポートして、ようやく三年目で国家試験に合格できた。これから、病院の即戦力として活躍してくれるだろうという矢先、他の病院に移動してしまった。苦勞して育ててきたのに、ショックだった。（千葉県・T病院）

【新年度の学習計画は、受験者の言語能力を客観的に把握した上で行うこと！】

- ※ 全国の多くの受け入れ機関では、未だに受験者の言語能力を客観的に把握しないままに、「専門教育優先」の考えで教育指導をしている。
- ※ その結果が、今回の国家試験合格率にも、具体的に反映されており、看護、並びに介護ともに、低い合格率となってしまっている。
- ★ 基本は、受験者の現状の「言語能力を把握すること」が、絶対必要だ。その上で、言語能力に基づいた【三か年学習計画】を立てることが重要だ。
- ★ 把握する手段としては、「基礎言語能力」が客観的に数値で分かる弊社の「10分間テスト」がある。このテストは、「読解力」だけではなく、「構文力」も分析でき、受験に必要な「瞬時反応能力」と、「言葉に対する捉え方の理解力」の差異をも判断できるものだ。

アドバイス ～ 悩みの声 「受験対策の方法が分からない」 ～

二年目の指導方法が分からない

- 「過去問題集」と「参考書」を二年目から学習させた所、過去問題を解くのに1時間に2～3問しか解けないし、正しい解答を選べない。「参考書」の指導では、漢字がある程度読めるので理解していると思ったら、実は、専門語彙の意味が全然理解できていない等で、二年目の指導方法が分からずに、担当職員も投げ出す状態だ。
- ★ この事例は、一年目で【基礎言語能力】が養えていないことを示している。よって再度、やり直す必要がある。

「選択文」の表現が分からない

- 「適切」と「正しい」の表現に対して、同じ意味として捉えているために、正解を導き出すことができない。職員もこの表現に対して、正しく語彙理解させることができないため、受験者の間違いが幾度となく繰り返されてしまう。どのように教えて良いのかが分からず、悩んでいる。
- ★ 言葉には概念がある。「適切」と「正しい」は、明らかな違いがある。その違いを明確に示さない限り、受験者は、同じ過ちを犯す。

二年目の学習意欲が下がる

- 一年間日本語学習をさせても、正しい日本語を使えるわけでもなく、また、「漢字を毛嫌い」する者がいる。日本語力がないために、専門知識の学習を指導しても分からないため、意欲をなくして学習しなくなる。どうすれば良いのか、大きな悩みだ。
- ★ 【基礎言語能力】がないままに専門知識を学習させたため、専門用語や知識の理解ができず、意欲を失っているのだ。このような声は、非常に多く、【基礎言語能力】を軽視した結果だ。

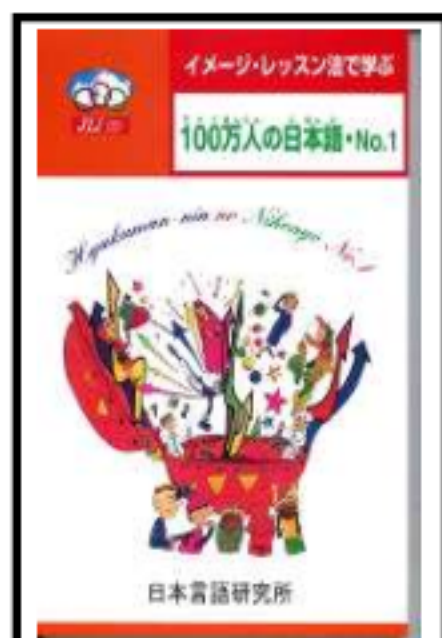
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・メールの問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

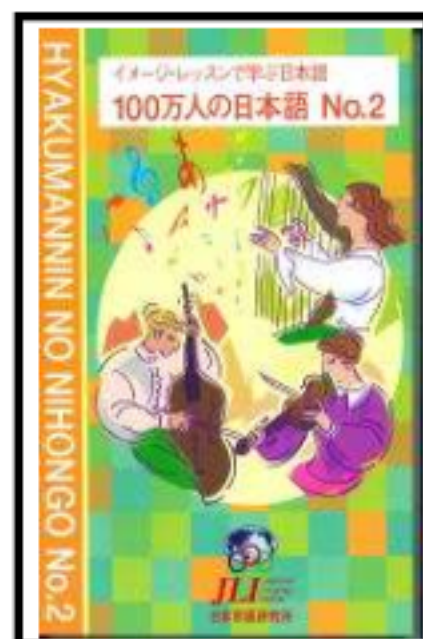
基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適切できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。
(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。
(1,980 円)

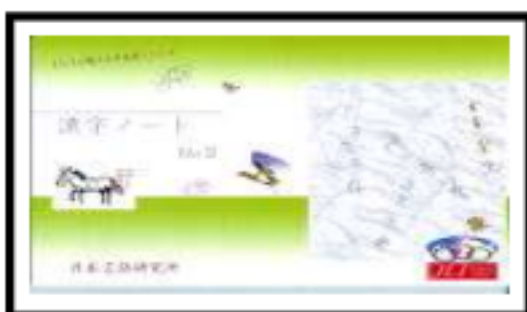


『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。
非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。
(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。
漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。
非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		